



2 (5) 「源氏物語ゆかりの地」説明板写真 (28~40, 44~47)

平安京復元模型

古典の日記念 京都市平安京創生館
京都市は平安建都1200年を記念して、「甞る平安京」展を平成6年(1994)9月22日から10月23日の間、京都市美術館(現・京都市京セラ美術館)で開催しました。この展示のために制作された平安京復元模型・豊楽殿復元模型・豊楽殿鷓尾復元模型・法勝寺復元模型・鳥羽離宮復元模型が展示されています。これらの模型をながめることで、平安時代の京都の様子をしのぶことができます。今の市街はこの平安京の形を受け継ぐ歴史都市として生き続けています。

平安京復元模型

マップ中の赤破線で囲まれる部分が模型として復元された範囲です。
「甞る平安京」展のメイン展示として製作された模型です。大きさや復元内容の詳細は裏面で解説します。

豊楽殿復元模型

平安宮豊楽殿跡が発掘調査で発見されました。見つかった場所は、ここ平安京創生館から歩いて2分のところです。その場所は、史跡として保存されています。
見つかった遺跡から、豊楽殿の位置やその規模が判明し、さらに出土した瓦類などから屋根の様子も復元することができました。

豊楽殿鷓尾復元模型

豊楽殿のつべん、大棟の両端を飾っているのが鷓尾です。発掘調査でその破片が数点出土し、その中には鳳凰を浮き彫りしたのもありました。これらを手がかりに、他の類例などを参考にして、原寸大で復元されたのがこの鷓尾です。
京都の瓦製作工房が引き継いできた技術で復元され、色合いも出土した実物の色にあわせています。

法勝寺復元模型

平安時代の終わりに造営された法勝寺の伽藍を復元したものです。その一帯は、六勝寺と呼ばれ、「勝」の字が付く6つの寺院が建ち並んでいました。
復元当時には、金堂跡をはじめ池跡などが見つかっていましたが、その後八角九重塔の八角形をした地蔵跡も発見されました。

鳥羽離宮復元模型

平安京羅城門からまっすぐ南へ約3kmの一带に、院政期を代表する鳥羽殿と呼ばれる御所がありました。
当時の日記に、都が移ったようだと書かれるほどの大規模なものでした。大きな苑池に面して御所や御堂や御陵などが造営され、周辺には諸機関や近臣の邸宅なども置かれました。

使用できません

新版 平安京図会

復元模型の巻

復元模型の巻

『源氏物語ゆかりの地』No. 28~40・44~47

平安京図会とは、京都アスニー1階にある「京都市平安京創生館」の展示品について紹介した「復元模型の巻」、これらを巡るための「史跡散策の巻」、源氏物語の舞台を示した「源氏物語ゆかりの地」の3巻を収録したものです。
この「復元模型の巻」では、館内に展示されている各復元模型が、市内のどの範囲および位置にあたるのかを示し、模型の概略を紹介してあります。
あわせて、「源氏物語ゆかりの地」のうち平安京外に位置するポイントを示し、その写真を掲載しています。

編集・制作
(公財)京都市生涯学習振興財団(京都アスニー)
〒604-8401 京都市中京区聚楽園松本町9-2
(京都市中京区丸太町通七本松西入)
(075) 812-7222 (事業係)

協力
京都市考古資料館・京都市文化財保護課・京都市歴史資料館・(公財)京都市埋蔵文化財研究所

発行
山代印刷株式会社 出版部
〒602-0062 京都市上京区寺之内通小川西入
℡ 075-441-8177

発行日
第1版 第1刷 2024(令和6)年3月31日

「古典の日記念 京都市平安京創生館」展示情報
<https://heiankyouseuseikan.asny.ne.jp/>

写真:「光源氏」源氏物語絵巻(複製)